

学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none">・講演では、パワーポイントを活用し、地域防災について分かりやすい説明をしていた。・グループ討議では、各グループに地域の方々が入り、活発な意見交換をするための工夫をしていた。
----------------------	---

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	鎌ケ谷市立五本松小学校 鎌ケ谷市南初富 1-16-1 電話 047-445-2366
テーマ	「学校に行きたくない!～思春期のメンタルヘルスと不登校～」
実施形態	講義、グループワーク
実施主体	学校と鎌ケ谷市健康増進課が主体となり実施
日時	令和元年12月5日(木) 15:15～16:35
会場	鎌ケ谷市立五本松小学校 音楽室
日程 流れ・進行	1 講義 15:15～ 「学校に行きたくない!～思春期のメンタルヘルスと不登校～」 講師: 臨床心理士 花澤 佳子 氏 2 グループワーク 16:00～ 3 まとめ 16:30～
参加者	教職員 地域住民 市内小中学校教員 その他(民生委員・避難所運営委員会委員長) 保護者 合計 約60名
広報	・広報紙 ・学校のHP ・その他(市内小中学校校長会にて周知)
内容	・思春期のメンタルヘルスと不登校についての講義 ・テーマを1つ選び、体験談等の話し合い(グループワーク) 【テーマ】①学校に行きたくない体験 ②学校で頑張った体験 ③希望を今の子供にどう伝える
参加者の意見	・今の子供は、SNS等で家に帰っても友達との人間関係が続いている。 ・昔に比べ、ストレスが溜まりやすくなっている。 ・大人たちが子供たちのために、安心安全な場所を作る必要がある。
その他 (テーマの背景、	・メモを取る方が多く、参加者のニーズに合った講義であった。 ・思春期の子供たちの課題に対して多角的に支援できる体制づくりの

学校の工夫、今後の取組等)	ため、市の健康増進課と学校が共催し、ミニ集会を実施している。 ・参加者が主体的に学習できるように、グループワークを設定した。
----------------------	---

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	勝浦市立総野小学校 勝浦市蟹田 2 2 2 - 1 電話 0 4 7 0 - 7 7 - 0 0 5 4
テーマ	「親子で一緒にワクワク！ ～読書の楽しさ～」
実施形態 実施主体	講演会、分科会、授業参観、その他（読み聞かせ） 学校と PTA が主体となり実施
日時 会場	令和元年 1 1 月 2 0 日（水） 1 3 : 2 0 ~ 1 5 : 2 0 勝浦市立総野小学校体育館
日程 流れ・進行	1 授業参観（1～4校時） 2 家庭教育学級 1 3 : 2 0 ~ 1 5 : 2 0 ミニ集会：テーマ「親子で一緒にワクワク！～読書の楽しさ～」 ・図書委員会による図書紹介 ・おはなしスキップさんによる「読み聞かせ」 ・グループワーク ・講話 講師：市川市立行徳小学校 学校司書 高桑 弥須子 氏
参加者	教職員 1 0 名 その他 保護者 4 0 名 地域住民 1 0 名 合計 約 6 0 名
広報	・通知文
内容	・児童の興味関心別に 4 つのグループに分け、体育館フロアで 4 か所同時展開の読み聞かせを実施。 ・児童退室後は、保護者を 6 グループに分け、事前アンケートを基にした「読書」に関する課題についてのグループワークを実施。
参加者の意見	・読書に関心を持たせるには、とにかく本に触れること。 ・きっかけは、図書館の本でもなんでもよいので、身近なところにあるという環境が大事。 ・やはり、親も読書を。

<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、今後 の取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none">・学校評価を踏まえたミニ集会のテーマ設定がされていた。・授業参観とセットで実施し、多くの地域の方々が参加するための工夫をしていた。・導入部のボランティアさんによる「読み聞かせ」の手法が新鮮であった。・ミニ集会の開催に向けて、PTA 評議会委員、講師との入念な打ち合わせによる準備を行っていた。
--	---

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	富津市立環小学校 富津市上後328 電話0439-68-0009
テーマ	防災・減災について ～いざというときのために～
実施形態 実施主体	講演会、意見交換、授業参観及び学年懇談会 学校とPTAが主体となり実施
日時 会場	令和2年1月20日(月) 9:30～12:15 富津市立環小学校 音楽室
日程 流れ・進行	1 授業参観 9:30～10:15 2 講演会及び意見交換 10:30～11:20 【テーマ】防災・減災について～いざというときのために～ 講師：富津市役所防災安全課 平野 健太 氏 3 学年懇談会 11:30～12:15
参加者	教職員 その他 保護者 地域住民 合計 約40名
広報	・通知文 ・学校だより ・地域回覧
内容	・防災、減災についての講演 ・参加者同士の意見交換
参加者の意見	・質問1：事前避難場所に関して、自宅に一番近い避難所に行かなくてもよいものなのか。 回答：行かなくてもよい。 ・質問2：防災無線は、電源が落ちても、電池での代用が効くのか。 回答：代用ができる。 ・災害に備えて、日常の準備が大切ということが分かった。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、今後	・授業参観、学年懇談会とセットで実施し、ミニ集会に多くの方々が参加するための工夫をしていた。 ・PTA 研修厚生部会で保護者のニーズを確認し、ミニ集会のテーマを

の取組等)	<p>設定していた。</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時に適切な対応ができるようにするための様々な情報提供が行われていた。・話題となっている液体ミルク等が準備されており、参加者の関心が高かった。
--------------	---